

沿岸漁場開発事業 (底層水温の季節変化)

藤川裕司・吉尾二郎

底魚類の分布生態，あるいは摂餌量，代謝量は水温によって支配されている部分が大きく，それらを考える上で底層水温の季節変化は重要であると思われ，今回，観察により水温の資料を得る事が出来たので報告する。

調査方法および結果

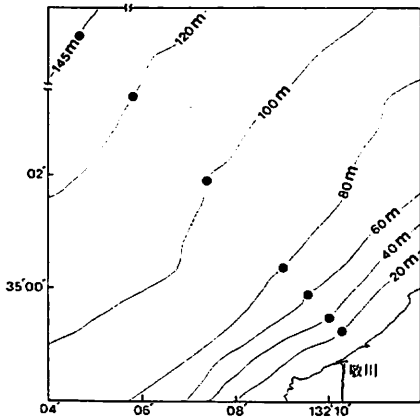


図1 調査定点

江津市敬川沖に水深別に調査定点を設け(図1)，昭和57年4月より59年3月にかけて，ほぼ毎月1回試験船明風により，転倒温度計で底より約1m上層の測温を行った。月別，水深別の測温結果を附表1に示した。また，それを図式化したものが図2である。

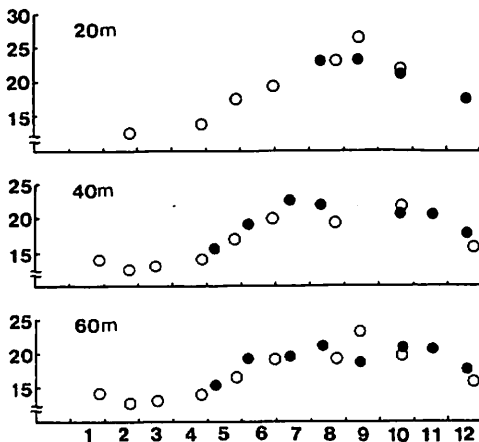


図2-1 底層水温の水深別季節変化
黒まる：57年 白ぬき：58年

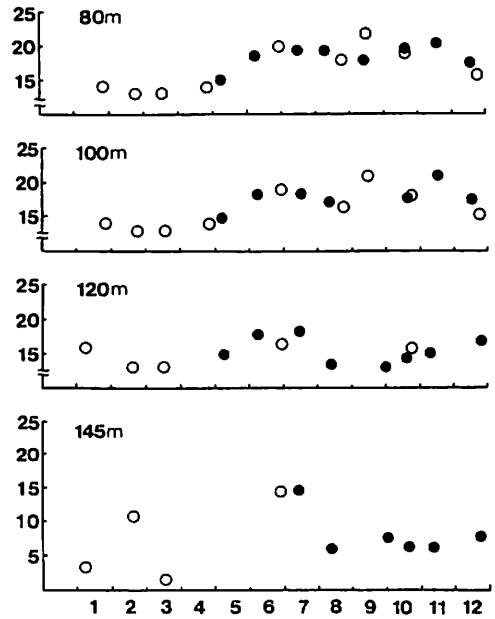


図2-2